

第7回「アルミニウムと健康」フォーラム開催のご案内

「アルミニウムと健康」連絡協議会では、11月10日（土）に第7回「アルミニウムと健康」フォーラムを開催いたします。今回は「生活環境と認知症」と題して、最新の情報をご提供するとともに、特に地球温暖化等の「環境問題」と原発事故から関心の高まっている「放射線の影響」も取り上げました。どなたでもご参加できますので、ご家族ご友人お誘い合わせの上お申し込みください。

主 催 : 「アルミニウムと健康」連絡協議会
アルミ缶リサイクル協会、（一社）軽金属製品協会、（一社）日本アルミニウム協会

協 賛 : 日本無機薬品協会 バンド・パック部会

日 時 : 2012年11月10日（土） 13:00～16:30

場 所 : 星陵会館（東京・永田町）
〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-16-2

定 員 : 370名

参加費 : 無 料

申込方法 : 別紙の参加申込用紙に氏名・住所等必要事項をご記入の上、下記のいずれかの方法でお申込みください。後日主催事務局から参加証を発送させていただきます。

① E-mail による申込み :

kenkou-forum@alkyo.jp に申込用紙を添付の上お申込みください。

② FAX による申込み :

FAX:03-3538-0233（アルミニウムと健康連絡協議会事務局）まで、参加申込用紙を送付ください。

③ ハガキによる申込み :

ハガキに氏名、住所、電話番号等、別紙の参加申込用紙にある事項をご記入の上、アルミニウムと健康連絡協議会事務局までご郵送ください。

【アルミニウムと健康連絡協議会事務局】

〒104-0061 東京都中央区銀座 4-2-15 塚本素山ビル 7 階

申込締切日 : 2012年11月2日（金）

定員に達し次第締め切らせていただきます。

*参加証の発送をもって受付とさせていただきますのでご了承ください。
参加証は10月20日以降に発送します。

お問合せ先 : アルミニウムと健康連絡協議会 事務局 田尻・小安
E-mail: kenkou-forum@alkyo.jp TEL 03-3538-0221

第7回「アルミニウムと健康」フォーラム

「生活環境と認知症」

プログラム

司会者：順天堂大学大学院 認知症診断・予防・治療学 客員教授
河村病院認知症診断・予防・治療センター長 田平 武

1. 生活環境と認知症：オーバービュー

順天堂大学大学院 認知症診断・予防・治療学 客員教授
河村病院認知症診断・予防・治療センター長 田平 武

略歴：九州大学医学部卒、同内科・同神経内科研修、医学博士、
米国 NIH, NINCDS 留学、国立精神・神経研究所疾病研究第6部部長、
国立長寿医療センター研究所長、順天堂大学大学院教授
専門：神経内科学、多発性硬化症、アルツハイマー病、神経免疫関連

2. 地球温暖化、環境破壊：アラル海の話

順天堂大学医学部衛生学講座 客員教授 千葉百子

略歴：共立薬科大学(現慶応義塾大学薬学部)卒、医学博士、田辺製薬(東京研究所)、
順天堂大学医学部助教授、ロックフェラー大学客員准教授、
米国商務省 NIST 客員研究員、WHO 本部アドバイザー
国際医療福祉大学薬学部教授
専門：衛生学、毒性学、分析中毒学

3. 放射線の影響：正しい理解

東京女子医科大学放射線腫瘍学講座 主任教授 三橋紀夫

略歴：群馬大学医学部卒、医学博士、同大助手、講師、助教授
東京女子医科大学放射線医学講座主任教授
日本頭頸部癌学会理事、日本食道学会評議員、日本放射線腫瘍学会理事
日本医学放射線学会代議員、日本癌治療学会代議員
専門：放射線生物学、放射線腫瘍学、放射線治療学

4. アルミニウムとアルツハイマー病：動物実験の結果

東京都医学総合研究所認知症プロジェクト

プロジェクトリーダー 秋山治彦

略歴：京都大学医学部卒、同大学院医学研究科修了、医学博士、
カナダ ブリティッシュ・コロンビア大学医学部ヒズマン神経学研究所客員研究員、
東京都精神医学総合研究所参事研究員、東京都医学総合研究所参事研究員
専門：神経病理学、神経内科学、脳の老化性病変、
特にアルツハイマー病や関連認知症疾患の原因と病態の解明

5. 認知症110番：困ったときの対応

医療法人社団 こだま会 こだまクリニック 院長 木之下徹

略歴：東京大学保健学卒、同大学院修了、山梨大学医学部医学科卒
国立精神・神経センター・ミレニアムゲノムプロジェクト非常勤研究員
在宅認知症ケア連絡会代表、NPO 地域認知症サポートブリッジ代表
NPO 長寿安心会副代表
専門：内科、神経内科、精神科

6. ディスカッション (上記先生方による、会場からの質問含む)

＜生活環境と認知症：オーバービュー＞

順天堂大学大学院 認知症診断・予防・治療学 客員教授

河村病院認知症診断・予防・治療センター長 田平 武

認知症の発症は生活環境の影響を大きく受けることが分かっています。生活習慣も環境の一つであり、運動習慣や食生活などにより認知症がある程度予防できることを前回のこの会で取り上げました。今年はもっと広い意味での生活環境の問題を取り上げてみることにしました。

20世紀最大の環境破壊と言われたアラル海が干上がった話をご存じでしょうか？琵琶湖の100倍もの広さをもつ湖が干上がったのです。これだけのことが起こると一体どれだけ人に影響が出るのでしょうか？現地で調査にあたられた順天堂大学の国際医療福祉大学におられた千葉百子先生から直接お話を伺うことができるのは大変楽しみです。

私たちは毎日宇宙線を浴びて生きています。昨年3月11日に巨大地震が起こり東電の福島原発がメルトダウンしました。水素爆発が起こり放射性物質が拡散しました。病院では胸部レントゲン、CT、胃の透視、脳の血流検査などに放射線を利用しています。これらの放射線被ばくは私たちの体にどの程度影響を与えるのでしょうか？東京女子医科大学の三橋紀夫先生から放射線の影響についてお話いただき、正しい知識を身につけましょう。

アルミニウムは酸素、ケイ素に次いで地球上で3番目に多い元素です。私たちの体にはアルミ缶、鍋、飲料水などを通して微量のアルミニウムが入ってきますが、その何十倍、何百倍のアルミニウムが食品を通して入ってくることを一昨年の本シンポジウムで学びました。口から入るアルミニウムが本当に大丈夫なのかどうかを知るために、アルツハイマー病のモデルマウスにこれでもかというほどアルミニウムを飲ませる実験を行いました。東京都精神医学総合研究所の秋山晴彦先生にその結果を発表していただきます。

最後に少し話題を変えて、認知症で一番大変な周辺症状のお話をこだまクリニックの木之下徹先生にお願いします。木之下先生は「認知症110番」を開設されて、在宅の認知症患者さんの困った問題に対応してくださっています。認知症の患者さんがおられこんな問題が起きて大変困った、あるいは現実に困っているという方はたくさんいらっしゃると思います。質問をたくさん用意してお集まりください、講演の後、質問にも答えていただきます。

ご参考

【過去の本フォーラムの内容】

- | | | | |
|-----|-------|-----|---------------------------|
| 第1回 | 1998年 | 3月 | 「アルツハイマー病研究の現状」 |
| 第2回 | 2000年 | 3月 | 「経口摂取アルミニウムの吸収、代謝と人体への影響」 |
| 第3回 | 2002年 | 4月 | 「アルツハイマー病の予防と治療」 |
| 第4回 | 2004年 | 11月 | 「アルツハイマー病の予防と治療 その2」 |
| 第5回 | 2007年 | 4月 | 「老化と認知症：予防・治療の最新情報」 |
| 第6回 | 2009年 | 10月 | 「生活習慣と認知症」 |

参加申込用紙

「アルミニウムと健康」連絡協議会 行き (FAX:03-3538-0233)

第7回「アルミニウムと健康」フォーラム参加申込書

2012 年 月 日

ご氏名*			
所 属			
住 所*	〒		
電 話			
年 令		性 別	

*必須項目 (参加証郵送のため)

会場案内図 (駐車場がありませんので自家用車でのご来館はご遠慮ください。)

星陵会館

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-16-2 TEL03(3581)5650

